

鳥屋野運動公園野球場再整備基本計画(概要版)

1 鳥屋野運動公園野球場の現状

鳥屋野運動公園野球場は、新潟国体に合わせて昭和38年に開場し、学童野球から社会人野球まで幅広く利用されてきました。

しかし、施設の老朽化が進んでいたため、今後のあり方について市及び有識者会議で議論する中、令和6年能登半島地震で被害を受けて使用できなくなりました。

市内で硬式野球の公式戦を開催できる野球場が限られていることや、全国規模の大会誘致の観点などからも、このような機能を持つ野球場は市内中心部に引き続き必要であることから、被災後も検討を重ね、現在地で新しい野球場に建て替えることを決定しました。

2 新野球場の整備コンセプト・整備方針

整備コンセプト プレイヤーや市民に親しまれる野球場

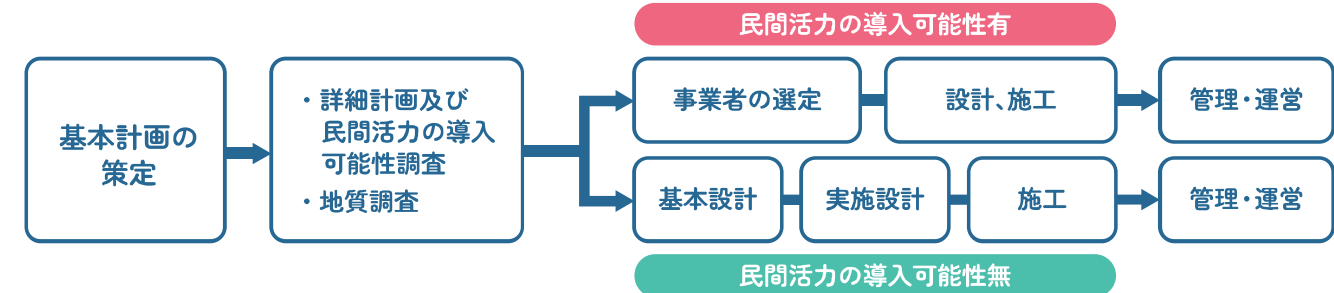
- 整備方針
- 1 硬式・軟式野球の公式戦が開催できる野球場
 - 2 多目的な利活用が可能な野球場
 - 3 安心・安全な野球場

3 新野球場の機能・利用方法

機 能	新野球場	現野球場
グラウンド	・両翼：98m 中堅：122m ・内野：人工芝 外野：人工芝 ※公認野球規則に準拠	・両翼：97.6m 中堅：120m ・内野：黒土 外野：天然芝
収容人数	3,000人程度	14,000人 (内野9,680人 外野4,320人)
屋根	あり（内野スタンド一部）	あり（内野スタンド一部）
屋内練習場	あり	なし
会議室	あり	あり
駐車場	650台（交通公園と共用） ＋臨時駐車場として可能な範囲で確保	650台（交通公園と共用）

- 利用方法
- 野球
 - ・学童から高校生や社会人までの硬式及び軟式野球の公式戦
 - ・市内、地域の硬式及び軟式野球の大会
 - ・練習
 - 野球以外
 - ・他スポーツの練習
 - ・運動会やイベントの開催
 - ・市民が利用できる広場やランニングコース
 - ・一時的な避難場所

4 今後のスケジュール



新野球場のイメージ図（本図は参考イメージ）



※ 本計画は、社会経済情勢の変化や周辺環境への影響等を踏まえ、今後変更となる場合があります。